

マーケットの動き (2021年8月9日～8月13日)

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。

7月の米国CPI（消費者物価指数）が市場予想を下回ったことを受け、量的緩和縮小の早期化観測が後退したことや、超党派で1兆ドルのインフラ投資法案が議会上院で可決されたことを好感し、底堅く推移しました。しかしながら、世界的な新型コロナウイルス変異株の感染拡大や、13日に発表された米国消費者態度指数の低下が警戒され上値は限られました。

欧州株式市場もおおむね米国に連動した推移となりました。

投資環境見通し (2021年8月)

外国株式の場の上値は重く、方向感に欠ける展開

米国：決算発表においては全般的に業績見通しのさらなる改善が確認されるなど、企業部門では良好な回復から拡大に向けた動きが続いています。決算発表後は景気や金利動向が注目されるとみえています。足元の上昇相場で好材料はすでに相当程度織り込まれたとみられ、新型コロナウイルスの変異株感染拡大、米国や中国の景気回復一巡、金融政策見直しなどを材料に神経質な動きの中、上値は重く方向感に欠ける展開を予想しています。

欧州：域内での活発な経済活動が続くとみられますが、個別材料に乏しく、米国市場に追隨する展開が予想されます。

	8月13日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,468.00	0.71%	2.26%	13.55%	32.45%
NYダウ	35,515.38	0.87%	1.80%	12.90%	27.31%

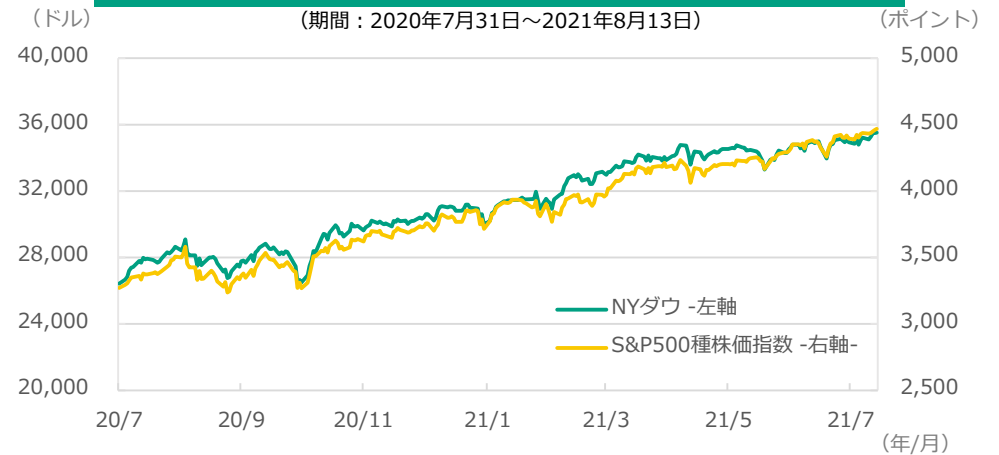
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202108_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2020年7月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成